

事業所名		児童デイサービス・アニマートさのほりごめ				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5		限られたスペースですが、一人一人の安全性や機能性を考慮し今後も検討して参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員基準を満たしての職員配置をしておりますが、利用者様の安全に配慮してまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	ご利用者様に合わせて視覚情報の掲示を行っています。床は必要に応じてマットを使用したりしています。	トイレは広くなり車椅子での使用も可能になっております。その他、手すりの設置や、を検討しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎朝、清掃、環境整備を行っています。	感染症の広がりが見られる時期には、換気、消毒を意識を高めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて個室で過ごせるように環境設定を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		月1の職員会議では年間研修計画に沿ったテーマについて話し合いを行ったり、毎日のミーティングで共通理解を図っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回、保護者様アンケートを実施し、改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所の自己評価を全職員で共有し、改善に向けた話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内外で行った研修や支援に関する情報を、職員間で共有しております。	虐待防止研修を始め、職員研修（新人研修）を計画的に行っていく予定です。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムの作成にあたっては、全職員で話し合いを重ねました。事業所のホームページに公表されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		5領域を中心としたアセスメント用紙に変更いたしました。	保護者様が負担にならないような聞き取りを目指して参ります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		作成の際は個別支援会議を開き、全職員で検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員で共有し、計画に沿って支援が提供できるように努めています。	新入の職員にもスムーズに共通理解が図れるように、伝達の方法を考えて参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		5領域を中心としたアセスメント用紙の他、学校、ご家庭、事業所での様子を聞き取り記録し使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスのガイドラインに沿って必要な項目や支援内容を設定しています。	今後も保護者様やご利用者様とのコミュニケーションを密にとり、必要な支援やその具体的な内容を設定できるよう努めて参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全職員で話し合い、プログラムや指導案を作成し実践準備をしています。	職員一人一人の意見を反映しやすい、風通しの良い職場作りに努めて参ります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		過去のプログラムを資料化し、参考にしながら工夫を重ねている。	今後も活動内容に偏りが無いよう全職員で活動内容についての会議を行ったり、利用者様の実態把握を適切に行って参ります。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動の他、個別の状況に応じて対応しております。	一人一人の特性をふまえ、ニーズ等がしっかりと反映できるよう、会議等で検討して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前に、職員全員でその日の流れや活動内容、役割分担の打ち合わせを行っております。	学校休業日の打ち合わせ時間の確保を検討して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援記録を記入する際に振り返りを行い、翌日のミーティングにて共通理解を図っている。	その日のうちに振り返りを行い、翌日のミーティングでは課題等を共有し検討していくサイクルを続けて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援後に記録をつけ、振り返りを行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度モニタリングの機会を設け、現状の把握、ニーズや課題の変更等に対応させていただきます。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		地域交流の活動に関しましては、近隣のお店への買い物学習や、地域ボランティアとの交流を行いました。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		集団活動の中でも自己選択の機会を作ったり、おやつは毎回好きなものを選択できるようにしています。また、「中高生会議」という話し合い活動等を行い、発言力や聴取力を育てています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			担当者会議に参加後、職員間で共通理解を図り、支援に繋げて参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			相談支援事業所より情報を提供して頂く他、必要に応じ関係機関との連携を図って参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時に学校と情報共有しています。	下校時間や行事予定は保護者様からの情報提供となっておりますが、その他必要に応じて学校に確認できるようにして参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			相談支援事業所より情報を提供して頂く他、必要に応じ関係機関との連携を図って参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		終了のモニタリングを行い、現在の様子や課題等をまとめた記録をお渡ししています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		研修等を通してご助言を頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		イベント等を通して交流の機会が持てるよう検討しております。その際には、保護者様のご意向を伺いながら進めて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎え時やリズム(連絡帳)を通じて日々の支援内容をお伝えしております。	研修内容や成功例などをお伝えし、対応に活かしていただけるよう保護者様にお伝えして参ります。また、支援方法を共通理解できるようにして参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			ご家族様が参加できる研修等の機会を多く提供できるようにして参ります。
提供	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			ご契約の際や保護者会時に分かりやすくお伝えして参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談やモニタリングを行いニーズの確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画案を作成後、保護者様、ご利用者様にお伝えし同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的な面談、モニタリングの他、帰りのお迎えの際や、連絡ノート（リズム）を通して、悩み事を把握できるように心掛けています。	事業所内相談の場を設けております。一緒に考えていきたいと思っておりますのでお声掛けいただければと思います。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		昨年度は、感染症の影響により見合わせになりましたが、年に1回保護者会を行い、保護者様同士の交流の機会を提供できるようにしています。	きょうだい交流につきましては、イベント等の参加を通して提供できるように検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		契約時に苦情受け入れ体制について説明を行っています。苦情があればすぐに管理者へ報告を行い対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		年に4回のお便り（活動の様子）や、長期休み前のお知らせ（持ち物等）を発行しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に説明を行い、同意書にサインをいただいています。	個人情報の使用や開示について細心の注意を払い厳重に対応して参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の発達や障がい特性に合わせて、絵、文字、時計など工夫して行っています。	帰りの事業所送迎を利用されている方には、事業所での様子やお知らせ等がしっかりと共有されるよう、情報の伝達の方法を検討して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	イベントの際に、地域ボランティアの方々をお招きしました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを策定し、職員に周知しています。	マニュアルの周知・説明を保護者様に分かりやすく行っているよう工夫して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		水害・火災・地震の避難訓練を年4回行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		ご契約時に保護者様より情報をいただき、全職員で共有しています。また、症状の変化にも迅速に対応できるよう、保護者様、学校との連携を図っています。	研修、ロールプレイング等で、緊急時の対応についても全職員で対応できるようにして参ります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現在アレルギー対応の方はいませんが、医師の指示書に従い対応できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		今年度マニュアルの整備を行いました。	今後も必要な研修等に参加するなど、安全管理を徹底して参ります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			お便り等で保護者様にも周知いただけるよう発信して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット集を作成し、回覧、再発防止等の話し合い等で情報共有を行い日々対応しています。	引き続き、ヒヤリハット事例を共有し、事故防止、再発防止に努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を中心に研修会の参加や伝達研修による周知を行っています。また、各事業所でも年4回以上研修を行い意識を高めています。	今後も、虐待防止・権利擁護についての読み合わせや事例検討を定期的に行って参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		虐待防止委員会を中心に研修会の参加や伝達研修による周知を行っています。	保護者様と面談を行い、必要に応じて同意を頂き個別支援計画書に反映させていただきます。また、その都度ご説明させていただきます。	